



2021年度（令和3年度）

第2回 びんご圏域活性化戦略会議

2022年2月17日（木）

議題

1 2022年度の位置付けと主な取組など

- (1) 第2期びんご圏域ビジョンにおける2022年度の位置付け
- (2) 取組の方向性
- (3) 主な取組
 - ① 圏域経済の好循環の促進
 - ② デジタル化の促進
 - ③ マイクロツーリズムの推進
 - ④ 医療連携の強化

2 その他

1 2022年度の位置付けと主な取組など

(1) 第2期びんご圏域ビジョンにおける2022年度の位置付け

第1期

連携の土台づくり

2015年度
(平成27年度)

～

2019年度
(令和元年度)

【びんご圏域ビジョンの土台づくり】

- ・戦略会議の部会にワーキング会議を設置（産学金官民連携による事業の検討）
- ・共通の地域資源（デニム・ぶどう）を活用した取組の推進
- ・圏域内の企業間マッチングの促進（Fuku-Biz開設）
- ・圏域の発展を支える人材育成の充実（ものづくり大学の開講）
- ・広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議の再開
- ・圏域の医療提供体制の確保に係る将来需要等の分析（地域カルテの作成）
- ・デニムのブランド化や民間主体のワイン振興協議会の設立 等

第2期

連携の深化

新型コロナウイルス対策

2020年度
(令和2年度)

【連携事業の再構築】

- ・効果検証・総括を踏まえた連携事業の再構築
（重点プロジェクト関連事業の企画・構築）

2021年度
(令和3年度)

【連携事業の実施・定着】

- ・重点プロジェクト関連事業の実施（新規（拡充）事業の始動・定着）
- ・圏域の経済循環強化に向けた体制検討（地域商社機能に関する調査）
- ・産学金官民がそれぞれ主体となる連携事業の構築 等

ビジョン3年目

2022年度
(令和4年度)

【連携事業の推進】

- ・重点プロジェクトを中心とした事業の着実な推進
- ・圏域の経済循環構造の構築に資する更なる事業の検討（地域商社機能関連）
- ・産学金官民がそれぞれ主体となる連携事業の実施 等

2023年度
(令和5年度)

2024年度
(令和6年度)

【連携事業の改善と新たなビジョンへの布石】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響や人口動態などの備後を取り巻く環境の再評価
- ・重点プロジェクトを中心とした各事業の見直しと新たな連携の検討
- ・産学金官民の各主体による連携事業の強化 等

(2) 取組の方向性

首長会議・びんご圏域活性化戦略会議で
確認した2022年度の取組の方向性

① 圏域経済の好循環の促進

○ 域内の経済循環の促進

- ・ 地域商社機能の調査分析，関連施策の見直し

- ✓ 調査結果を踏まえた関連施策の見直し
- ✓ 総合的な地域商社機能構築のための施策の検討
- ✓ 圏域共通のふるさと納税返礼品の検討

② デジタル化の促進

○ 産業のデジタル化の推進

- ・ 相談支援体制の強化，先進事例研究
- ・ ドローンの活用促進 など

- ✓ 中小企業への伴走支援の強化
- ✓ 企業や大学との連携によるデジタル人材の育成
- ✓ ドローンフライトガイダンスを活用した情報発信，実証実験やイベントの誘致による機運醸成

○ 行政サービスのオンライン化の推進

- ・ AI・電子申請・RPAなどの導入促進

- ✓ 市町間でのノウハウ共有による行政サービスのオンライン化の加速

③ マイクロツーリズムの推進

○ 圏域の資源をつなぐ広域観光の推進

- ・ マイクロツーリズムの推進
- ・ ワークেশョンの推進 など

- ✓ 観光コンテンツの充実とプロモーションの強化
- ✓ 特色あるワークেশョンの発信と，継続的な人の流れの創出

④ 医療連携の強化

○ 医療人材確保に向けた支援制度の構築

- ・ 研修医等への支援制度の構築
- ・ 看護職員の確保 など

- ✓ 研修医定着に向けた支援メニューの構築
- ✓ 看護職員確保に向けた情報発信の強化
- ✓ 医療機関と圏域外の医療人材のマッチング支援

びんごイノベーション
エコシステム形成支援PJ

行政サービス
効率化PJ

広域観光
交流PJ

医療連携
強化PJ

(3) 主な取組

① 圏域経済の好循環の促進

- 地域商社機能の視点を施策へ取り込み、まずは販路拡大支援を強化することで圏域内事業者の稼ぐ力を強化する。
- 地域商社機能調査結果を踏まえ、機能構築や機能強化に向けた施策を検討する。

○ 販路拡大支援の強化

- 贈るさと納税の共通返礼品の提供に向けた検討
- デニムプロジェクトの強化（海外への販路拡大）
- 6次産業化支援の対象を販路拡大まで拡充

○ 地域商社機能の構築・強化に向けた施策の検討

- 調査結果を踏まえ、研究部会（びんごイノベーションエコシステム形成支援プロジェクト）において地域商社機能の構築・強化策を検討



2021年度の取組

現時点での調査・検討状況
別紙参照(中国地域創造研究センターより報告)

② デジタル化の促進

- コロナを機に、企業や行政のデジタル化への対応が求められている。
- デジタル化に取り組む企業の導入支援や好事例の横展開、行政サービスのオンライン化などを推進する。

ア デジタル化支援拠点の機能強化

○ びんごデジタルラボの機能強化

- デジタル化を推進するリーダーに対する実践的セミナーの実施
- 「せとうち Tech LAB」と連携したデジタル技術活用事例の発信

【参考1】 びんごデジタルラボ 実施状況

産業の現場でのデジタル化をテーマにオンラインイベントを開催
2021年度：開催実績5回（5月，7月，9月，11月，2月）

【参考2】 地域発デジタル化推進拠点「せとうち Tech LAB」概要

地域課題をデジタル技術で解決した事例の紹介・展示など
開設状況：2021年12月1日開設（ソフトバンク株式会社）



○ びんごICT相談所による伴走支援の開始

- 企業を対象にデジタルツール導入の実践セミナーを開催
- セミナー後も導入や利用にあたっての質問に個別対応（伴走支援）

【参考】 実施状況

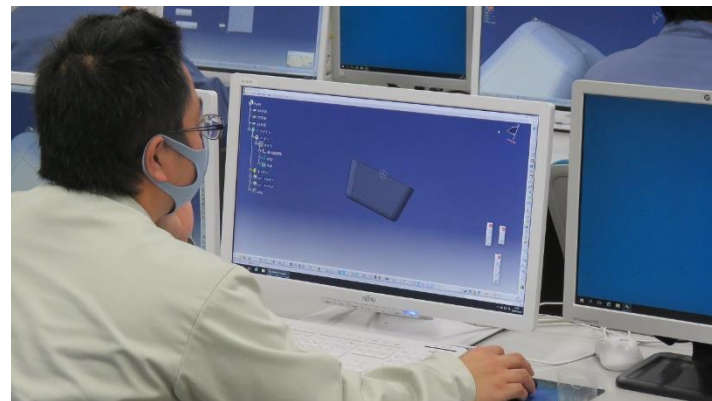
デジタル化の導入に関する質問に対応 相談件数：40件（1月末時点）

イ 産業のデジタル化

新（仮称）びんごAI講座の開設

- 企業の経営層を対象としたAI導入のメリットを学ぶ公開セミナー
- 実務者を対象としたAI導入手法を学ぶ講座

✓ 福山職業能力開発短期大学校と連携し、
ものづくり大学のデジタル分野を強化



○ びんごドローンフライトガイダンスを活用した情報発信

- ドローン活用事例の追加掲載や関連機関・団体等と連携した相談支援体制づくり
【参考】

○びんごドローンフライトガイダンスの公表（2022年3月）

○ 実証実験やイベントの誘致による活用機運の醸成

- 実証実験の場所や協力者の確保など、企業が円滑に実験を進められるよう支援
- ドローンフェスの開催（府中市）

【参考】

○2021年度実証実験実施事例

- 高高度飛行及び長距離飛行の実証実験（神石高原町）
- 最新のサーマルカメラをドローンに搭載した夜間撮影実証実験（神石高原町）
- 「空飛ぶクルマ」実用性に向けた実証実験（笠岡市）

○ 関連団体と連携したドローン活用人材の育成

- ドローンの基礎知識、操作についての講座やセミナーの開講

【参考】

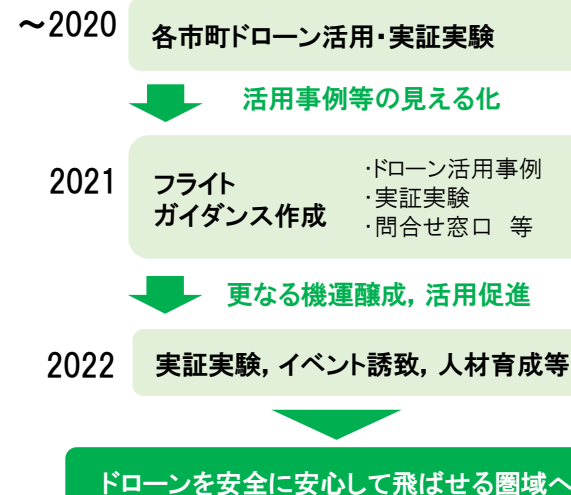
○圏域内企業や行政職員を対象にしたドローンセミナー（2022年3月）

参考

○ 「空飛ぶクルマ」衝突防止自動管制技術の実証試験

- 概要：①「空飛ぶクルマ」の飛行を実現するため、飛行時における衝突防止自動管制技術「AURORA」をドローンシステムに搭載し、衝突回避試験を実施
② 20km圏内で飛行する航空機を、MR（仮想世界と現実世界を融合）技術を用いて見える化する実証実験を実施
※「空飛ぶクルマ」の飛行に向けてドローンの機体を用いて実証実験を実施
- 実施日：2022年2月3日（木）11時～13時
- 場所：福山市内海町（クレセントビーチ ⇄ 内浦小学校（約1.5km））
- 実施者：(株)F a r o S t a r（ファーロスター）

【推進フロー】



○ オンライン行政サービスの拡充

- 導入効果が高い業務を中心に、市町間でのノウハウ共有を図り、行政サービスのオンライン化を推進
(AIチャットボット, 電子申請, RPAなどの導入拡大)

【参考】オンライン行政サービスの導入状況

情報システム部会を通じて、市町間でノウハウを共有
(2021年7月, 10月, 2022年2月に開催)

○各市町の導入状況 (2022年1月末時点)

- AIチャットボット 導入分野数 三原市 (27分野)
福山市 (14分野)
- 電子申請 導入手続数 200件
- RPA 導入業務数 73業務
削減時間数 12,790時間

※RPA…「Robotic Process Automation」の略。

AIや機械学習などの認知技術を活用し、定型的なパソコン操作などの業務の効率化・自動化を行う取組。

	AIチャットボット	電子申請	RPA	
	分野数	手続数	業務数	削減時間数
三原市	27	36	31	6,295
尾道市	0	17	12	1,084
福山市	14	103	15	4,843
府中市	0	2	6	430
世羅町	0	1	0	0
神石高原町	0	1	0	0
笠岡市	0	11	0	0
井原市	0	29	9	138
合計	41	200	73	12,790

○ 統一化様式の使用開始

- 事業者等の負担軽減に向けて、圏域内で統一化した2様式を2022年5月中旬から使用開始
- 2様式について、引き続き統一化に向けて検討

【参考】各様式の検討状況

※ 下線を引いた様式は電子申請可能

検討結果	様式名	備考
○ (統一化)	<ul style="list-style-type: none"> 給与支払報告特別徴収に係る給与所得者異動届 特別徴収義務者所在地・名称変更届出書 	2022年度使用開始予定 (5月中旬～)
○ (国に準拠)	<ul style="list-style-type: none"> 就労証明書 償却資産申告書 給与支払報告書 預貯金等調査票 	国のシステム標準化の動きに準拠 (2025年度までに順次実施予定)
— (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> 扶養手当未支給証明書 競争入札(見積)参加資格審査申請書 	引き続き検討
× (見送り)	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替依頼書 	市町が必要とする項目の違いが大きい ため、統一化困難

③ マイクロツーリズムの推進

- ・ コロナ禍を機に変化した観光客等の意識や行動に対応できる資源・魅力の発掘や既存の観光コンテンツの更なる磨き上げが必要。
- ・ 感染状況を見ながら、備後圏域内の周遊や圏域外からの新たな誘客を促進する。

ア 食を活用したマイクロツーリズム

○テイクアウトグルメのプロモーション

- ・ 「びんごそふと」を中心としたプロモーションの強化
- ・ プロモーションのターゲットエリアを圏域外に拡大
- ・ 「びんごい一つ」認定参画店舗及び認定商品を拡充

【参考】

○2021年度プロモーション実施状況

- ・ 備後圏域内40店認定(1月1日時点) ※コッペパン31種類 ソフトクリーム23種類
- ・ 圏域内の道の駅・産直市を巡る周遊イベント
※販売個数 1,374個 販売率97% イベント日数9日間で5日間が完売
- ・ 周遊観光コースの紹介、地元情報誌やSNSを活用したプロモーション



イ びんごワーケーションの推進

○備後圏域で「働く・暮らす」を体験する場を提供

- ・ モニターツアーの結果を踏まえたモデルプランや、各市町の取組についてウェブサイト等で発信

【参考】

○2021年度実施状況

- ・ びんごワーケーション協力施設の募集・登録 (34施設), ウェブサイト等でのPR
- ・ 備後圏域周遊型ワーケーション(モニターツアー)の実施 ※3組11人
ばら愛好家との交流(福山市), 白壁の町並み散策(府中市),
森林セラピー(神石高原町), 星空ヨガ(井原市) など
- ・ 官民参加・地域課題解決型ワーケーションツアーの実施(笠岡市・矢掛町・岡山県)



○ サイクリングロードの整備

- サイクリングロード（サブルート）の一部を整備
※港町東手城線（福山市）の舗装工事
(2021年11月～ ※2023年度完成予定)

【参考】

○2021年度実施状況

- 隣接する市町と接続する広域的なサブルートの設定
※岡山県側サイクリングルートとの接続

ルート案（笠岡市「笠岡湾干拓ルート」、
井原市「まるごと！井原満喫ルート」と接続）



○ しおまち海道サイクリングロードの魅力発信

- SNSを中心にしたPR動画等の情報発信
- おすすめビュースポット等の紹介

【参考】

○2021年度実施状況

- 現況調査：プロモーション前後にしおまち海道サイクリングロードの認知度等について調査
- モニターサイクリング
- プロモーション動画の制作：PR動画・特別編動画
- 情報誌掲載：タウン情報おかやま, Cycle Sports
- ロゴ作成
- SNSの開設 (Facebook, Instagram, YouTube)



動画再生回数
27万回
(配信後1か月)

中四国地方の
サイクリスト
認知度
65.6%



○帰ってきた BINGOフェスティバル

福山城築城400年とコラボし、備後の歴史や魅力を伝えるイベントを開催

- 福山城築城400年記念日オープニングイベントで同時開催
備後の食を集めたブースや備後のゆるキャラ集結により圏域をPR
- 開催日：2022年8月27日（土）～28日（日）
- 場 所：福山城



2019年以来
3年ぶりに開催

○びんごライフSNSを活用したフォトコンテスト

びんごライフInstagram内でフォトコンテストを実施し、域内周遊(マイクロツーリズム)を促進

実施期間：2021年11月1日（月）～2022年1月10日（月）

テーマ：「わたしが切り取るびんごの魅力」

※特に「食」「過ごし方」を募集

設定タグ：「#びんごライフ」「#びんごなフォト」

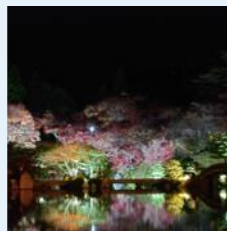
景品：入賞者に各市町の特産品をプレゼント（5,000円程度）

今後の予定：3月中旬 受賞作品の発表（Instagram内）・景品の発送
4月～ 応募作品を活用し、プロモーション強化

応募数：1,165件

フォロワー数：1,428人（1/10現在）

（期間中に約250人増）



④ 医療連携の強化

- 備後圏域の医療施設従事医師数は県平均や全国平均を下回っており、病院の中核を担う30～40歳代の医師が減少している。
- 備後圏域の安定した医療提供体制確保に向け、医療人材の確保に取り組む必要がある。

○ 医療人材の確保

- 医師確保のための支援制度の対象を初期臨床研修医から専攻医（旧：後期研修医）まで拡充

【参考】医師確保対策事業費補助（2021年度実績）

福山・府中二次保健医療圏の臨床研修病院（4施設）

対象者 初期臨床研修医22人，交付決定 22人

- びんご看護ネットを改修し看護学校の生徒募集や病院の採用情報の発信を強化

○ 医療版ワーケーション

- 医療機関と圏域外の医療人材のマッチングにより特に初期救急医療機関を充実

○ こども発達支援センターの機能強化

- よりスムーズな相談対応のため、常勤医師を2人に増員するなど診療体制を充実

新 子どものワクチン接種のための連携

- 子どもが新型コロナウイルスワクチンを受けられる医療機関の情報をWEB上のマップでまとめて発信

✓ 近隣市町も含め、最寄りの子どものワクチン接種ができる医療機関が確認可能に

✓ 2022年3月中に稼働



【参考】WEBサイトイメージ

2 その他

次世代ビジネスリーダーの育成

別紙参照(県立広島大学より御紹介)